

商船三井、エネルギー輸送安定し最終益黒字化

Edited By LogisticsToday On 2019/04/26

商船三井が26日に発表した前3月期連結決算は、売上高がコンテナ事業を切り離した影響で25.3%減の1兆2340億円となったものの、営業利益は66.3%増の377億円を確保し、最終損益は18年3月期の「473億円の赤字」から「268億円の黒字」へと転換した。

邦船三社の事業を統合したコンテナ船で赤字が36億円増えたものの、エネルギー輸送事業で75億円、ドライバルク船事業で65億円それぞれ損益を改善し、大幅増益につなげた。エネルギー輸送事業は、上期の輸送需要が低調だった油送船が下期に改善し、LNG船・海洋事業も安定的に推移した。

今期は売上高1兆1940億円（3.2%減）、営業利益260億円（31.1%減）、最終利益400億円（48.8%増）を見込む。

■決算集計（見出し：年/決算期/四半期、[]：前年同期比、単位：百万円）	19/3/	19/3/3	19/3/1	19/3/1	
	通期	Q	中間	Q	
売上高	1,234,942,077	[-6.25.3%]	22,619,893	24,430,430	[-24.9%.5%]
営業利益	37,718	[21.8%]	29,679	14,761	[32.4%]
最終利益	26,875	[-31.2%]	20,095	5,725	[-56.3%]
売上高	3.1%	3.1%	2.4%	1.2%	
営業利益率					

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>
 URL to article：<http://www.logi-today.com/341302>
 Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.